

- 宜野湾市では、令和2年9月に市立大謝名小学校で教頭を務めた元教員の遺族より、「児童生徒のための図書代に充ててほしい」との遺言を受けて、1千万の寄付があった。
- 令和2年度に、元教員の方の意思と名が形に残るよう森林環境譲与税を活用して本棚と看板製作を行い、大謝名小学校図書館へ文庫を設置。令和3年度においても、2台の図書棚を県産材の琉球松で製作し、同校へ設置した。
- 令和4年度においては、宜野湾市で開催される全日本健康マージャン及び将棋フェスティバルの入賞者へ、賞状や記念品を木製品で製作し授与するための経費に充当予定。また、木製のイスや書架を製作し、令和5年度に新校舎となる普天間小学校へ設置予定。

## □ 事業内容

### 公共施設等の木質化事業

- 沖縄県産材である琉球松を活用し、市内小学校へ図書棚を製作し設置した。

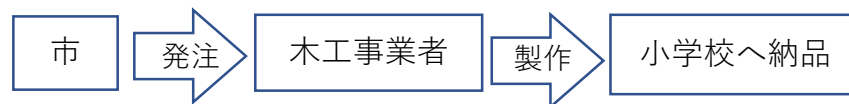
【事業費】590千円（うち譲与税590千円）

（琉球松で製作した本棚）



※計2台制作。図書館へ設置時の写真。

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

- 県産材（琉球松）を多く活用できるように、製作方法、サイズなど、木工事業者と調整を行った。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	7,906千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	5.8%
④人口（※3）	100,125人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
※4：「H27年国勢調査」より